

# 提 言

## 1. 広域調査結果(詳細調査候補地の抽出)

レーザー航空測量図による地形特性調査、広域地表地質踏査による地質特性調査、既往調査資料をもとに、白屋地区で得られた地形・地質特性に関する新たな知見を考慮して、貯水池全体の斜面を再評価した結果、詳細に再調査を実施する必要がある候補地として、大滝・寺尾・迫・白屋上流・井戸の5地区を抽出した。

## 2. 詳細調査結果

詳細調査候補地として抽出した5地区に対して、レーザー航空測量図を用いた詳細地表地質踏査、高品質サンプリング、ポアホールテレビによる地質解析を実施した結果、いずれの斜面においても地すべりブロックが想定された。

## 3. 安定性の検討結果

いずれの地すべりブロックも地すべり性の動きは認められないが、既往の調査結果及び今回新たに実施された調査結果を基に検討したところ、貯水した場合、大滝地区の前面すべりおよび迫地区の下部すべりはその影響を受けることが懸念されたため、対策が必要と判断した。

## 4. 対策工の検討結果

大滝地区の貯水に対応した前面すべりの対策工の基本的な方針は、押え盛土工法を主工法とし、補助工法として抑止杭工法を採用することを提案した。また迫地区の下部すべりに対しては、押え盛土工法を主工法とし、補助工法として抑止工および排土工を検討することを提案した。なお迫地区の下部すべりに対する補助工法の検討にあたっては、上部すべりへの影響を考慮する必要がある。

## 5. 今後の調査・検討課題

計測・観測は5地区においては試験湛水終了時まで継続する。大滝地区の貯水に対応した前面すべりおよび迫地区の下部すべりの対策工については、今後得られる新たなデータによる検証を行い、詳細設計を行うことが必要である。